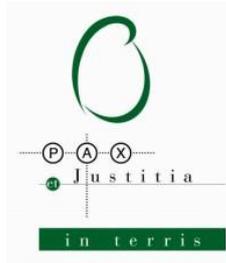


CATHOLIC DIOCESE OF NAGOYA
2-6-35 AOI HIGASHI-KU
NAGOYA, 461-0004 JAPAN
TEL :81-52-935-2223
FAX :81-52-935-2254
EMAIL:curia@nagoya.catholic.jp



カトリック名古屋教区
461-0004 名古屋市東区葵 2-6-35
電話 : 052-935-2223
ファックス : 052-935-2254
Eメール : curia@nagoya.catholic.jp

2020年5月21日

教区の皆さま

新型コロナウイルス対策（10）

教区司教 松浦悟郎

＋主の平和

政府は去る5月14日、39県において緊急事態宣言の解除を発表し、名古屋教区5県すべては解除されました。もちろん、解除されたからといって収束したわけではありません。新型コロナウイルスと向き合いながら、私たちもいわゆる「新しい信仰生活様式」をつくっていく必要があるでしょう。そこで、名古屋教区としては、5月末までの公開ミサ中止を決めていましたが、当面は以下のように進めていきたいと考えています。

1. 原則として、6月より主日、平日とも公開ミサを開始します。

- * これまで通り、感染予防対策（下記参照）を取るようして下さい。
- * 感染予防対策が困難と判断される小教区は引き続き中止することができます。その場合、個人的に行う「主日のみ言葉の黙想と聖体拝領」（下記参照）の配慮をお願いします。
- * 5月31日聖霊降臨の主日は、可能と思われる小教区はミサを行うことができます。

2. 会議、集いについて

- * 小教区評議会、必要な委員会、教会学校などは、感染予防対策を取った上、短時間で慎重に行ってください。

参考

ミサを行う際の感染予防対策

- * マスク着用、消毒などの準備、密集しないように間隔を置いて座わる、窓を開けて換気するなどの配慮をする。そのために、ミサの回数を増やすなど、信徒が分散して参加できるように工夫する。
- * 聖歌や唱和はできるだけ避け、司式者と先唱者の応答に限り、オルガン伴奏を有効に活かすなどの工夫をする。口での聖体拝領はしない。

個人的に行う「主日のみ言葉の黙想と聖体拝領」

- * 司祭は、事前に主日のミサを行い、その聖体をもってある一定時間（通常のミサの時間）聖堂に待機する。その時間内に信徒が来た場合、聖体を授ける。
- * 信徒は、日曜日のミサの時間内（小教区で決めた時間内）ならいつでもいいので、教会に来て、その日の「聖書と典礼」を使って沈黙のうちに一人で祈る。やり方としては、集会祈願を唱えた後、3つの聖書朗読（答唱詩編を含む）をゆっくり味わい、少し黙想した後共同祈願、主の祈りまで行う。その後、聖堂にいる司祭から聖体を受け、最後に拝領祈願を心の中で唱え終わる。

祈りのうちに